

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 2 月 7 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 1 4 0 2 0 9 3		
法人名	有限会社 たすかる		
事業所名	グループホームたすかる		
所在地	長崎県南島原市深江町戊 2 9 7 5 - 6		
自己評価作成日	H25 年 1 月 12 日	評価結果市町受理日	H25 年 3 月 8 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成 25 年 2 月 7 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

身体機能の低下を余儀なくされる利用者様の心の拠り所として観音様の御堂を建設し、毎日参拝される利用者様がいらっしゃいます。住宅街の中にホームがあり隣は保育園で利用者様と園児がお互いに交流できる関係にあります。利用者様の満足は私たちの満足となるようなサービス提供を

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

当該ホームは、代表者が高齢者単独世帯や老老介護となっている地域の現状を目の当たりにして、自分の長い福祉業務経験を生かし地域のニーズに応えたいと設立したものである。運営に当たっては、利用者家族及び地域との信頼関係を最重要視し、職員には人間関係を円滑かつ和やかに築く第一歩は「挨拶と笑顔」が大切であると説き浸透させている。また利用者に楽しく暮らして頂くには、職員が明るく活発と働いていなければならないとし、働きやすい職場環境に配慮し職員育成にも熱心に取り組んでいる。ホーム内では、職員及び利用者から、挨拶は勿論、和やかな会話や賑やかな笑い声が聞かれるなど活気があり、日頃からの人間関係の良さが感じられた。管理者及び職員も常に利用者の立場に立った、介護とは何かを自分で考え行動するという意識があり、今後一層の向上が期待できる事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	昨年、理念を見直し1.挨拶と笑顔で優しさあふれるホームを目指します2.利用者様の満足は私達の満足になるようにサービスの提供を目指しますを共有し日々勤労している。	以前は職員間のみにも留まる傾向にあった挨拶も理念を通して挨拶の意味が理解でき、自然に笑顔と挨拶ができるようになった。利用者の表情も明るくなり、毎日の生活を利用者と共に楽しめるようになった。代表・管理者は職員の介護に対する姿勢や利用者の表情などから理念の達成度を見極め今回「考動」という目標へステップアップし取り組んでいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の方、近隣の方に敬老会の招待や避難訓練の時参加していただいている。また、近くの保育園の行事へ参加している。	事業所敷地内の八角堂へ近隣の方が参拝に来られた際に一緒にお茶を飲み、また散歩途中で近隣の方と会話を交わすなど日常的に交流がある。隣接の保育園児が散歩に出かける際には窓を開け挨拶を交わしたり手を握るなど良好な関係ができています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	徘徊がある人の情報は、自治会の方や推進会議等で理解してもらえよう提供しているが、地域貢献には至っていない。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の推進会議で報告された事をミーティング、ケア会議等でも報告し、サービスの向上になるよう話し合っている。	毎回、議題を決めそれぞれの視点から助言や情報交換を行い有意義な会議となっている。議題の中で「地域密着型といわれて思い浮かぶことは？ここでできることは？」と投げかけたことで、家族から学校の発表会への訪問に行っはどうか等の意見を頂き検討に繋げている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	代表が、民生委員や包括支援センターを定期的に訪問する世話役をしている事や、推進会議の際参加いただいた広域圏組合との関わりがある。	グループホーム連絡協議会等でのネットワークを通して馴染みの関係ができており、検討事例やトラブルがあった際の助言や制度に関する情報交換の場として活用している。また市町とは運営推進会議を通して制度に対する確認を行っているほか、文化祭への出品の呼びかけなどもあり、連携を深めている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>基本的に身体拘束をしないケアの取り組みに努めています。利用者様の安全を図る場合、禁止の対象となる事案の場合は、職員で協議し正しい理解に努めています。また、研修に参加している。</p>	<p>身体拘束はしない方向であり、現在夜間のみ安全確保のため家族同意のもとセンサーマットを使用している。使用の際は時間を区切って行い、話し合いや経過記録を取りながら常に見直しが行われている。「ちょっと待って」など利用者が抑圧感を感じる言葉の使用に注意し、止むを得ない場合、利用者が納得されるように説明をするなど工夫をしている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する記事等がでた場合は、職員へ回覧し、職員一人ひとりに虐待が見逃されないよう注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する研修も機会もない為、成年後見人制度の理解もできない。機会をもち勉強していきたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の提携・解約等に関しては、代表・管理者が十分な説明を行い、理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、利用者・ご家族にも面会時等に相談・意見・要望等伺い、職員間で検討し、日々のケアに努めている。</p>	<p>家族面会時には話しやすい雰囲気作りに気配りしているほか、遠方の家族に対しては写真に一筆を添えて、状況を伝え家族との関わりを深めている。家族からの要望には、申し送りノート等を通して職員全体で共有し、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>良い意見や提案と思われるものは、反映されている。</p>	<p>代表、管理者は働きやすい環境作りに積極的に取り組んでおり、「10分記録をとります」等のやり取りも自然に行われている。管理者は普段から職員の小さな変化にも気を配り、言葉かけをするなど何でも言いやすい環境作りに努めている。職員も業務の中で意見や要望を積極的に伝えており運営に反映されている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の努力や実績・勤務状況は把握されている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加時には、レポートを作成し全員に回覧している。報告事項の殆どが、職員の育成までは至っていない。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>研修会に参加して知り合う機会があり、同じ働く者として馴染みの関係になり、新しい情報や相談をする機会がある。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時に自宅訪問し、本人・家族より色々なお困り事等のお話を伺い、パンフレット等を使用しながら、安心して入居できるよう説明を行っている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族状況も同様に伺い、入所後も面会やその他の折相談・意見・要望を伺うようにして、ケアプランに反映するように努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ニーズや相談内容により支援の方針を決定し、その方針に沿って職員が支援していきます。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の趣味や作業と一緒にいき共感し、共に喜びあったり教えあったりして、日々の生活を支えながら過ごしています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>月に1度お便りを出し、行事の写真等同封したり、施設内に貼り出し面会に来られた際には報告し一緒に喜び合っています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>面会や電話等で要望を頼まれた場合には支援し、行きたい所がある場合はできるだけ希望に沿うように支援していきます。</p>	<p>家族との関係継続を大事に考えており、居室にソファを設置するなど、できるだけ訪れて頂ける環境作りに努めている。以前一緒に働いていた方や自宅の近所の方の訪問もある。面会が遠のいている利用者の家族等に対しては「もしよかったら来てください」など連絡をとるなど、寂しさに対する支援も行っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>カラオケを行ったり歌番組を観たりするのが好きな方が多い為、利用者・職員が共に歌ったりして関わり合い、支え合う関係作りに努めています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された方もいつまでも支援出来るように、居宅・訪問の提供者が自宅に伺ったりしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>細やかな状況把握に努めています。基本情報を基に課題分析し、現状の理解に繋がっている。</p>	<p>利用者それぞれのペースに合った支援をしている。自分の思いを伝えきれない方に対しては、選択肢を示したり拳手などで意思を確認している。不穏時は個人記録や申し送りにて、統一した対応の仕方を決め落ち着く支援、利用者の安心に繋がる支援を行っている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や生活環境、大切にしている事の情報ケアプランに反映して、サービスの利用経過等の把握に努めています。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の過ごし方や訴え等に傾聴し、見守りの中で心身の状況把握に努めています。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は本人・家族の要望は一部の希望のみで作成されている為、本人・家族の要望や職員の意見を取り入れた介護計画を作成していきたい。</p>	<p>個人記録にはケアプランの目標が明示されており、それに沿った支援状況や経過が細かく記録に残されている。目標は「できること」が挙げられ、実際に実施した具体的な回数が記録に残され、関わった職員が必ず記載することで達成度が明確になり次へのプラン作成への順序立てが明確になっている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に言動・行動・摂取量・排泄・身体状況を記録し、モニタリングシートを活用する等して、職員の情報共有・ケアプランの作成・見直しに活用しています。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人・家族の状況・要望に応じて通院支援・自宅帰省・買い物支援等の個別支援を行っています。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方との交流少なく、現在のところ協力できていない。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人様のかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、いつでも適切な医療を受けられる様に支援しています。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医を継続し、定期受診も支援している。受診後は必ず家族へ報告を行い家族に安心感を与え信頼を得ている。医療連携により定期的な往診も受け、細かな相談や状況報告を行い健康管理を行っている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職は日常での気づきがあればすぐに看護師に報告し、適切な受診・看護が受けられるように支援しています。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、様子を観に行ったり、家族より治療状況を伺ったり、入院療養計画書を見せていただき治療の把握に努めたり、医療関係から説明を受ける等家族と同席して内容の把握に努めています。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族には、見取りに関する方針をお伝えし同意を得ているが、現時点では見取りを行った事がない。終末期のあり方について家族、主治医と話し合い、ご本人の希望に沿えるよう支援していきたい。</p>	<p>代表は、医療面の不安や職員の経験不足が否めないホームで、利用者や家族に納得して頂ける看取りができるのかと、葛藤を抱えている。職員も同様の認識を持っている。しかし、今後当ホームでの看取りを希望する方に寄り添うため、「自分たちがどこまでできるのか」勉強会や話し合いを重ね希望に応えたいとしている。</p>	<p>今後、ホームでの看取りも予測される。職員全体で率直に話し合い、方針を決定し家族や医療関係者等と連携を図りながら、納得した最期を迎えられるように取り組まれることに期待したい。</p>
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急隊の方から蘇生法の講習を年1回定期的に受けている。急変や事故発生時のマニュアルを確認・把握しており、統括より指導、助言を受け実践力を身に付けている。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災に備えては避難訓練を実施しているが、地震・水害においては実施できていない。地域の方を交えた訓練が出来るように協力体制をとっていきたい。</p>	<p>年2回昼夜想定での避難訓練を行い、初期消火訓練や非常災害用設備使用方法を再確認した。日頃から火元となる場所の確認を行っており自治会を通して地域にも火災時の協力を呼び掛け訓練参加の依頼をしている。食品や個人情報の備蓄品も整っている。直近の消防訓練では消防署から近隣職員への一斉連絡が取れるよう機材登録の提案を受け実施した。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの自尊心を大切にし、声掛け等には、わかりやすい言葉で話すように心がけて支援を行っている。	一人ひとりの人格を尊重した言葉かけを行っている。何事も利用者に決めてもらうようにしている。例えば飲み物でもコーヒー、お茶、冷たい、熱いものと希望に沿った支援を行い性格や人柄を大事にした支援がされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	掃除や洗濯物干し食事の準備等作業がある時には、声掛けし自らの意志で作業が行えるように働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活パターンが身に付いており、殆ど同じ時間での生活である。時には体調の変化で食事の時間が変更になったり、散髪希望があれば取り入れ可能な限り支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれができる方は、洋服を選んでいただき、できない方へは職員が支援しています。また、自分で化粧をする方、化粧の支援をしている方もいる。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する作業（配膳・下膳・お茶の準備等）のできる事を選んでされている。職員も同じ食卓で会話をしながら食事をとり、一緒に準備・片付けを行っている。	毎月1日、15日は刺身の日と決め、旬のおいしい物や利用者の希望を尋ねて提供している。利用者は白菜のお漬物や干し柿、かりんシロップを作りおやつとして楽しんでいる。また散歩途中でももぎを摘み、一日かけてよもぎ餅を作るなど職員と共に季節を楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は、個々の状態に合わせた量を盛りつけし、摂取量の記録を行い把握している。献立は、担当者が栄養面を考え、バランス良く献立を立てるように工夫している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の状態に応じて、できる方は自分でを行い、できない方は職員が介助を行いながら、口腔ケアの清潔に努めています。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者様一人ひとりの排泄の状態をその都度記録しながら、自立にむけた個別の排泄支援に努めており、利用者様の様子を見ながらさりげなく声掛けし排泄誘導を行っています。</p>	<p>排泄チェック表を使用し量や形態、パットの状況などに記録が残されている。体調に合わせてパットの大きさやオムツの使い分けがなされており食事前後のトイレ誘導が習慣化され、パットを汚さないように職員全体で取り組んでいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘になる原因を考え、水分補給を促したり、繊維の多い食材を取り入れたり、体操や運動を取り入れたりして取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週3回の入浴日を設けており、順番等も不公平にならないように配慮しながら支援している。入浴されない時には、清拭・陰洗を行っている。</p>	<p>基本的に1日おきの入浴を実施しているほか、汚染時など随時シャワー浴で対応している。拒否する利用者に対しては時間を置いて言葉かけを行っているほか、仲良し同士での入浴もでき、また入浴以外にも足湯を準備するなど楽しめる配慮もなされている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その方に合わせた生活習慣に応じて就寝される時間にお部屋へお連れし、寒がりの方は電気あんかを使用されたり、気持ち良く眠る事ができるように支援しています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員全員が利用者様の疾病・内服・副作用等の理解に努め、内服記録を薬剤保管庫に管理し、職員がいつでも確認できるようにしている。</p>		

48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物干し・裁縫掃除等家事手伝いができる方には、職員と共に行ってもらい、歌が好きの方、買い物が好きな方には、個々の利用者様の張り合いや喜びのある日々を過ごせるようにできるだけ支援している。</p>			
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>穏やかな天気の日には、庭のベンチにて外気浴や歌を歌ったり、おやつを食べたり、また、ホーム周辺を散歩に出掛けたりとできるだけ戸外に出るよう支援しています。</p>	<p>「年に1回は遠出したい」との利用者の希望を受け、小浜の足湯へお弁当を持って出かけ現地で家族と待ち合わせをし同じ時間を楽しむ利用者もあった。寝たきりの利用者も福祉車両を使用して自宅庭先での仏様参りに付き添う支援を行っている。日常的に散歩や買い物を通して出来るだけ外出できるように支援し、共に楽しめる工夫がされている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理ができる方には、お金を所持していただき買い物等で使えるように支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご本人が電話をかけたいと希望があれば、本人に代わり電話をかけ取次して話をしていただいています。手紙を出す希望はないが、届いた手紙は、その方の状態に応じ代読の支援をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内はもとより庭にベンチを置き、利用者様の居場所の確保ができており、玄関・居間・廊下・居室等は、特別な備えを感じる事なく一般家庭を思わせるような造りである。</p>	<p>日常的に利用者が集まるリビングは、日当たりのいいところにソファや音楽機材が準備され設備面も充実している。また利用者への言葉かけなどが自然で居心地の良さが感じられた。台所とテーブルが向かい合って位置しているため、調理の香りが味わえるほか、お手伝いする利用者との会話が広がり、温かな雰囲気作りがされていた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者が個々に自由に過ごせるように、居間にソファを置いたりして工夫しています。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、その人の人生が滲み出ている。それぞれ棚・タンス・化粧品・写真等持ち込み我が家として安心した居場所となるように配慮している。	使いこまれた馴染みの調度品が持ち込まれ、それぞれの好みや個性が生かされている。夫の位牌や家族の写真、家族とのやり取りが書き込まれたカレンダーなど利用者にとって安らぎのある生活が感じられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今までされてきた掃除・配膳・洗濯物干し・裁縫等をしてもらい、その方にあった生活ができるように支援しています。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)</p>		<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>		<p>1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)</p>		<p>1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念とは何かまず各自で考えその集まった意見をまとめて新たに理念を設けて共に一緒に共有し日々の実践へつなげています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様が日々日課とされている散歩時ゴミ拾いを利用者様と職員が行ったり自治会より古新聞などを分けて戴いたり敬老会には自治会をはじめ近隣住民の方を招待しています。消防訓練などにも自治会に参加して		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームの利用者様の様子や活動を運営推進会議の中で情報公開し定期的にテーマに沿った勉強会を開催し知って頂けるよう努めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回自治会長・御家族代表・民生委員・広域圏組合に参加して戴きサービスの内容や活動報告などを通して情報交換の場としサービス向上に活かしています。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者が民生委員や地域包括支援センターを定期的に訪問し関わりを持っています。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>高齢化や重度化に伴い「ちょっと待って下さい」「後からですね」などの言葉が聞かれます。玄関の施錠については夜勤帯以外は行っておりません。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部の虐待防止の研修に参加しケア会議などで資料などを参考に職員全体で勉強しています。虐待に関する記事等が出た場合は回覧し虐待が見過ごされる事がないように注意を払い防止に努めています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見人制度については外部の研修に参加しているが制度に関する事は殆ど理解できていない職員が半数に思われます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には取締役・管理者が十分な説明を行い理解・納得を図っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様や御家族に面会時に意見や要望等がないか伺っています。相談苦情の窓口や担当者を重要項目に明記し説明を行っています。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議の中で意見交換や情報交換を行い職員の意見なども良いと思われる意見や提案は反映されています。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の努力や実績・勤務状態の把握は行えています。経験年数や職員の努力等を把握したうえで給与水準の見直し条件の整備に努めています。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には積極的に参加し個々に向上心があります。研修後にも報告書を作成し全員に回覧しています。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>研修会や協議会の会議にも職員が参加し顔なじみの関係から交流や相談なども行える機会が増えつつあります。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所段階時に施設長・代表者が自宅など訪問し御本人や御家族より話を伺い安心して生活できるような関係作りに努めています。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族の状況等把握したうえで入所後も相談・要望・意見を伺いサービスの向上に努めています。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談内容による話し合いをケアマネをはじめ職員で支援の方針を決定し、その時に必要な対応を行っています。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>積極的に家事や洗濯物たたみなどを手伝って下さり一緒に行う事で共に喜びあったり教わる事があったりと助け合ったりして日々の生活を行っています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時には報告などを行い、御家族にも御理解をして頂き御本人様が安心して生活できるように御協力を頂いています。行事報告や日常の写真をたすかるだよりとして送付しています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>要望があれば出来る限り要望に沿えるように支援しています。御家族を通し馴染みの人や御本人さんの友人等も面会にきて戴いたり出向いたりしています。車椅子の方も自宅まで仏様参りに行く外出支援を行っています。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>1日に1回は体調や気分に合わせて利用者様全員でティータイムやレクリエーションの機会を設けて関わり支えあうように支援しています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所されてからも面会に伺ったり外部で御家族と会った場合も経過や相談出来る馴染み関係にあります。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者様や御家族とお話し状況の把握をし基本情報をもとにその人らしく生活出来るよう支援しています。意思疎通の困難な利用者様についてはちょっとした表情や動き等を観察し気持ちを汲みとれるように努めています。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者様の一人ひとりの生活歴や生活環境・大切にしている事などはケアプランに反映してありサービス経過の把握に努めています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>その人らしく快適に過ごしやすい環境等を整え支援しています。心身の状態に合わせたサービスが出来るよう日々努めています。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様とご家族の意見を反映し毎月の会議で見直しています。各担当者があることで状態の変化に合わせた介護計画の作成は以前より出来ています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の個人記録に行動・言動・心身状態を具体的に書くことで情報の共有サービスの統一チームケアを行っています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者様のニーズに対応して出来る限りの個別支援を行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を把握し利用や活用したりすることによって楽しく生活できるように支援しています。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>業務委託をし毎月往診があり利用者様への待ち時間の負担がなくなり状態把握や医療連携もスムーズになり適切な医療を受けられるようになりました</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は日頃の状態を報告し気づきがあればすぐに看護師に相談できる環境にあり、適切な看護や早期対応出来るように支援しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の場合は情報交換・治療状況を伺い治療の把握や医療機関から説明を受ける際は御家族と同席させて戴いています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日頃より日々の状態を報告していることで利用者様の状態に合わせて早い段階で御家族と話し合い事業所で出来ることを説明し希望等を伺っています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急連絡網の設置急変時の対応等については全体で勉強会を行っています。いつもでも目が届く所に急変時の対応マニュアルを掲載しています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を夜勤体制・日勤体制で年に2回実施しています。その際救急隊より蘇生法の講習をうけています。避難場所把握・非常時の持出品については備えているが自然災害訓練までは至っていません</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に対して適切な言葉で対応できるように努めています。個人情報の取り扱いには十分配慮しています。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食べたい物や行きたい所など普段の会話の中でさりげなく聞きだすような配慮を行っています。飲み物の温度や種類なども選択して働き自己決定出来るように働きかけています。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調や気分に合わせてその日の利用者様に合わせた支援が出来るよう取り組んでいます。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容室に行かれる方や服装もその日の気分や好みに合わせて支援しています。リビングに来られる際は身だしなみを整えた状態で過ごして戴けるようにしています。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する一連の作業を手伝って戴いたり作る楽しみや更に自分で作った味を堪能する等個人に好きな物を尋ねたり人気の献立を飛び入りで組み込んだり各テーブルでホットプレートを使用して全員で焼きそばやお好み焼き等を作って食事が楽しみになるように日々取り入れています。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた形態や量を提供し好き嫌いに合わせてメニューを一部変更したりする事もあります。食事・水分量を把握し健康管理出来るように支援しています。

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後利用者様の状態に合わせて介助を行っています。夕食後は洗浄液につけて口腔内の清潔に努めています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>食前・後は習慣として声かけを行っています。排泄パターンを把握する事で失敗が減らせるようさりげなく声かけに配慮し努めています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分は確実に摂取して戴けるように温度の変化や味の変化など工夫しています。センナ茶なども取り入れて各自の排便コントロールを行っています。1日1回を体操等で体を動かしてもらうように支援しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は週3回予定していますが体調や気分がすぐれない時は時間をおいたり次の日に延期したり希望者には続けて入って戴いたりしています。入浴際など使用し変わり風呂などで楽しみになるように工夫しています。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>就寝時間は個人差があり好きな時間に各自戻られています。就寝前にはあったかい飲み物を提供しています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者様の疾病・内服・副作用などの理解に努め服薬記録やお薬説明書等はいつでも確認できるようにしています。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>調理の下ごしらえや洗濯物たたみなどの手伝い一緒にすることで役割を持っていたり、個々の利用者様が張り合いや特技を活かして楽しく生活出来るように支援しています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>利用者様のリクエストがあれば計画を立て実行しています。寝たきりで外出しない利用者様についても個別で行きたい所を尋ね安全に配慮し御家族の協力を得ながら実施しています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が出来る利用者様についてはお金を所持されており御家族の理解の上で定額持たせている方については買い物や散歩の際は好きな物を購入して戴いています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話かけたいと希望あれば電話を使用されています。はがきについても年に2回御家族や御友人に書いていただき書けない方については代筆しています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じられるように時期に応じた模様替えや植物をテーブルに置くなどの工夫を行っています。共用の空間は次に使用される方が気持ちよく使用出来るように配慮しています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日当たりのよい場所にはソファを設置し利用者様が日光浴をされたり読書をされたりとくつろげる空間を工夫したり座敷で寝ころんでテレビを見て戴けるように工夫しています。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はその人の生活がにじみ出ておりそれぞれの棚に神様など奉られている方もいらっしゃいます。我が家として個性がある空間であります。快適に安全に配慮した配置などを状態に応じて対応しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりに位置やトイレの場所が分からなくなった利用者様に応じて表記してあるラベル等が小さい時には職員が手作りしたりと自立出来るようさりげない支援を行っています。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない